

「ボッチャ」のルール等について

世田谷区は、子どもから高齢者、障害の有無に関わらず、誰もが参加しやすい「ボッチャ」を通じて、障害者スポーツの推進に取り組んでいます。
みなさんも「ボッチャ」のルールや戦術の奥深さを知り、体験してみましょう！



ボッチャとは・・・

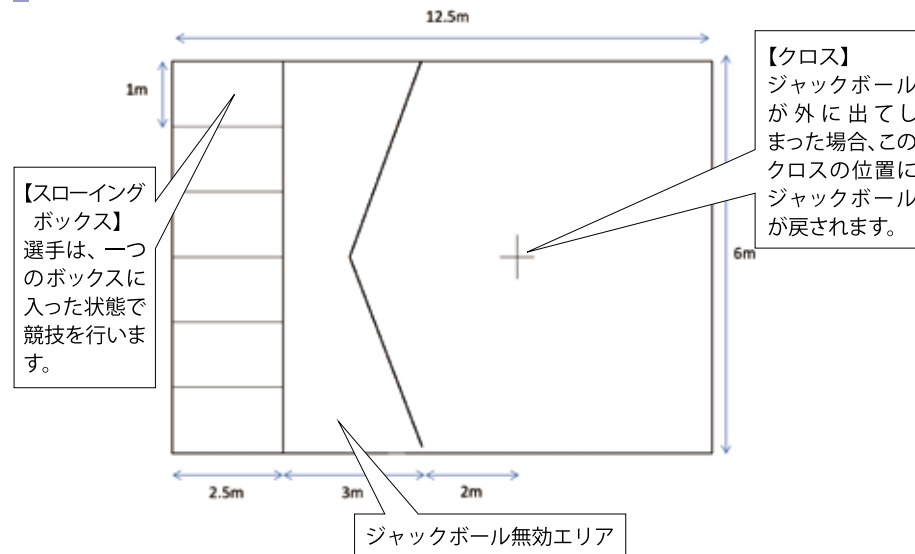
ジャックボールと呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールをいかに近づけるかを競うスポーツです。

1対1で行う個人戦、2対2で行うペア戦、3対3の団体戦があり、いずれも1チーム6個のボール（赤または青）をジャックボール（白）に近づけるように投げます。

試合開始となる第1エンド（お互い6球ずつ投げ終わるまでを1エンドと言います）は必ず赤ボールが先攻となり、ジャックボール（白）も先攻側が投げます。以降、偶数エンドは青ボールが先攻、奇数エンドは赤ボールが先攻となり、この一連の流れを個人戦とペア戦は4エンド、団体戦は6エンド行います。

ボッチャの投球について①

使用するコート図



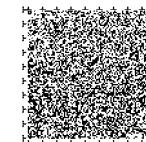
Aチーム 先攻側が的となるジャックボールを投げ、続けて1球目の投球を行います。



Aチーム

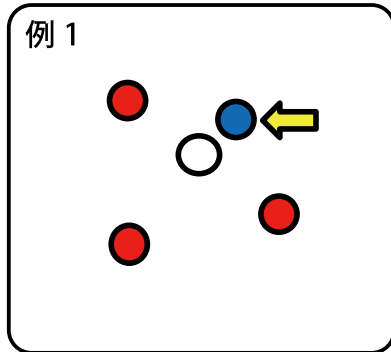


Bチーム

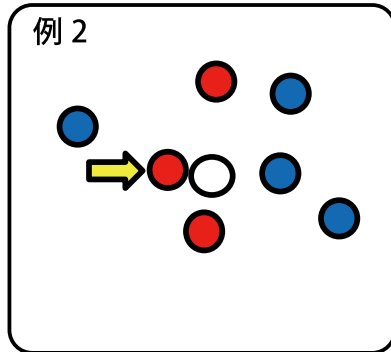


ポッチャの投球について②

以降、ジャックボールからより遠い位置にボールを投げた側の選手がその次の投球を行います。

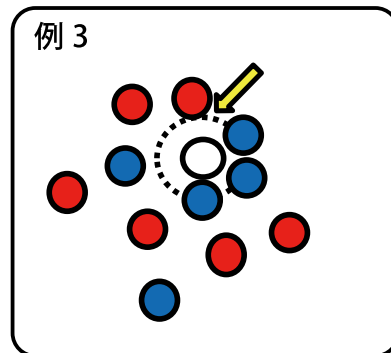


例 1
青のボールがジャックボールに近いいため、青のボールより赤ボールが近くなるまで赤側が投げ続けます。



例 2
赤の方がジャックボールに近いため、次は青側の投球となります。

赤、青ともに6球ずつを投げた時点で得点を計算します。



例 3
エンド終了時、ジャックボールに最も近いボールを投げた側에만のみ得点が入ります。相手側のジャックボールにもっとも近いボールよりも、ジャックボールに近い1個につき、1点が与えられます。

青の方が赤よりも3つジャックボールに近いいため、青側に3点が入ります。

以降、同様に各エンドを行い、点数をつけていきます。最終的な勝敗は、各エンドの点数を合計した結果、点数の高いチームが勝ちとなります。

障害の種類や程度によるクラス分け

クラス	対象となる障害	障害の内容
BC1	脳原性疾患	四肢・体幹に重度のまひがある選手
BC2	脳原性疾患	車いす操作がある程度可能な選手
BC3	脳原性疾患／非脳原性疾患	自力での投球が困難である選手（競技アシスタントによるサポートでランプを使用）
BC4	非脳原性疾患	頸椎損傷や筋ジストロフィーなどにより、重度の四肢機能障害がある選手

パラリンピックなどの国際大会では、障害の種類や程度によって、4つのクラスに分かれて試合を行います。

審判補助器具の紹介

審判は、ジャックボールとカラーボールの距離計測等で公正なジャッジをする必要があるため、数種類の補助器具を用いることがあります。（以下、代表的な道具を紹介します。）

■ キャリパー



ジャックボールとカラーボールの距離を比較する際に使用します。一方のボールとジャックボールの間隔に合わせてキャリパーを固定し、それをもう一方のボールとジャックボールの間隔と比較することによって、どちらの色のボールがジャックボールに近いかを判定します。

■ メジャー

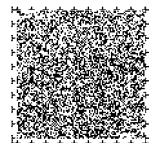


距離が遠く、キャリパーでは測るのが難しい場合はメジャーを使います。こちらもキャリパーと同様に、もう一方のボールとジャックボールの間隔とを比較することによって、どちらの色のボールがジャックボールに近いかを判定します。

■ パドル



表裏で赤・青の色をした表示板です。それぞれの投球後に、次にどちら側が投球するかをパドルの色によって投球者及び観覧者に示し、わかりやすくするものです。



投球補助器具等の紹介

自力での投球が困難であるBC3クラスの選手は、投球を補助する器具を使用して競技を行います。以下に、代表的な器具を紹介します。

■ ランプ



ランプとは、ボールを投げるできない選手が使用する勾配具のこと。ボールを転がすことで投球を行うことができます。

■ リリースー

リリースーとは、自分の手でボールを押し出すことができない選手がボールを押しやるもの。頭部や口に装着し、使用します。

また、比較的重度の障害により自身でボールを投げるのが困難な選手には、アシスタントがつくことにより、競技を行うことがあります。

ただし、アシスタントができることは限りがあり、また、競技中はコートに背を向けた状態でコート内の様子を見ることができません。

身近なものでボッチャを体験してみよう！

専用のボールを持っていないけど、ボッチャをやりたい・・・そんな時は、身近にあるもの、買えるものを使って、ボッチャボールを作ってみましょう！

※世田谷区スポーツ推進課でボールの貸出も行っています（P.13参照）

用意するもの

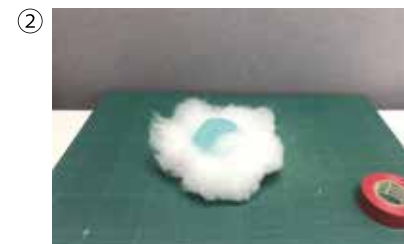
○油ねんど ○わた ○ビニールテープ（白、赤、青の3色）

作り方

- ① 油ねんどを200グラム程度に分けます。
- ② 分けた油ねんどを丸め、わたで包みます。
- ③ 形を整えながら、全体にまんべんなくビニールテープを巻きます。
- ④ 同じ要領で、白いボールをひとつ、赤と青のボールを6個ずつ作成し、準備完了です。



① 出来るだけ、重さを均一にしましょう。



② テープを巻く前に、形はある程度整えましょう。



③ テープを巻きながら、形を調節します。



④ 完成！

